

令和2年8月28日(金)

《 茨城新聞に掲載されました 》

冷た〜い水 いつでも

美浦小中学校に製氷機

美浦村は8月から、村内の小中学校4校に製氷機を1台ずつ設置した。新型コロナウイルス感染症の影響で短縮された夏休みが終わり、厳しい暑さの中で学校に通う子どもたちの熱中症



製氷機（奥側）で作った氷を受け取る美浦村立木原小の児童たち
同村木原

対策として導入した。

同村木原の木原小（戸張深雪校長）は夏休み明けの24日から、給食後に製氷機で作った氷を4、5個ずつ児童に配布。水筒に水道水を入れて下校時に冷たい水を飲めるようにした。2年生の中山将真君（7）は「冷たくてうれしい」と声を弾ませた。

これまでは水筒に飲料水1日分を入れて登校する児童もいて、同校の小島亜希子教諭（43）は「小さな子が持つには重いと心配していた。学校で氷を配るようになり「子どもに重たい水筒を持たせずに済むようになった」と保護者にも好評」と笑顔を見せる。

製氷機の費用は計約11.6万円。村教委学校教育課の小山久登課長は「冷たい水を飲んで、暑い中でも安心安全に下校してほしい」と話した。（木村優斗）